

農商工労働常任委員会 議事次第

令和8年5月14日(木)
午後1時30分～
於：第7委員会室

1 開 会

2 委員会活動のまとめ

3 その他

4 閉 会

農商工労働常任委員会 出席要求理事者名簿

【企画理事】	
※企画理事兼商工労働観光部長	岡本孝樹

【商工労働観光部】	
商工労働観光部企画調整理事 (副部長兼務(労働担当))	河島幸一
商工労働観光部観光政策監 (副部長兼務)	野口礼子
※商工労働観光部副部長 (総括担当)	山本太郎
※商工労働観光部副部長 (産業創造担当)	安達雅浩
商工労働観光部理事 (情報基盤担当)	高橋義典
※労働政策室長	草分隆司
観光室長	西田剛
産業労働総務課長	安藤成司
産業労働総務課参事	疋田英登
中小企業総合支援課長	田村弘之
※産業振興課長	森本耕次
※染織・工芸課長	中埜博之
※産業立地課長	子川貴司
※経済交流課長	山本隆裕
文化学術研究都市推進課長	芝田雅貴
雇用推進課長	安村真
※人材育成課長	田中一成

【農林水産部】	
※農林水産部長	荻安彦
※農林水産部副部長	加茂雅紀
農林水産部技監	塚脇健
※農林水産部理事 (農政課長事務取扱)	牧隆志
※農林水産部理事 (農村振興課長事務取扱)	小塩佳市
※農林水産部理事 (経営支援・担い手育成課長事務取扱)	川原崎尚志
※農政課参事	福阪圭輔
※農政課参事	一星暁美
※農村振興課参事	嶋渡英樹
農村振興課参事	藤井伊
※経営支援・担い手育成課参事	片岡未裕希
※流通・ブランド戦略課長	山川彰宏
※流通・ブランド戦略課参事	中澤尚
※農産課長	藤田信也
※農産課参事	松田智宏
畜産課長	黒田洋二郎
※水産課長	八谷純一
※林業振興課長	中井哲弘
※林業振興課参事	和田由美子
森の保全推進課長	中村大地

(計 39名)

【商工労働観光部・建設交通部】	
商工労働観光部・建設交通部港湾局長	相木敢

※ 新任理事者
 職名変更

京都府議会

農商工労働常任委員会

活動報告書(案)



令和8年5月 日

委員長 瀧脇 正明

副委員長 秋田 公司

副委員長 池田 輝彦

委員 四方 源太郎

(令和7年12月17日まで)

委員 宮下 友紀子

委員 田島 祥充

委員 奥村 文浩

(令和7年7月22日から)

委員 種清 喜之

(令和8年1月27日から)

委員 北岡 千はる

委員 竹内 紗耶

委員 光永 敦彦

委員 迫 祐仁

委員 田中 健志

目次 京都府議会 農商工労働常任委員会 活動報告書

1	委員会の審議等の状況（概要）
2	委員会活動状況
3	重要課題調査のための委員会
4	審査依頼議案審査結果
5	管内外調査
6	委員会活動のまとめ

1 委員会の審議等の状況（概要）

本委員会は、商工労働観光部及び農林水産部の所管並びにそれに関連する事項を所管している。

各部局の主な所管事項は下表のとおりである。

部局名	主な所管事項
商工労働観光部	中小企業振興等産業、労働、雇用、観光、計量
農林水産部	農業、林業、水産業、農山漁村地域振興、農林水産物流通、森林保全・共生

京都府議会の各常任委員会では、年4回の定例会において、条例案などの審査を行うほか、議会の閉会中に委員会を開催して、府政の重要課題について、テーマを設けて集中的に審議するとともに、京都府内や他府県に赴いて調査を実施している。

今期の農商工労働常任委員会の閉会中の常任委員会においては、所管事項に関するテーマについての議論を深めるため、参考人制度を活用して、専門的知見を有する方や実際に事業に従事している方の意見を聴取し、テーマに関する議論を掘り下げた。

また、管内調査では、府の施策等が実施されている現場を訪問し、関係者から説明を聴取するとともに、現地視察を行った。

管外調査では、先進事例や京都府と共通する課題に対して、他の自治体や関係団体がどのような取組を実施しているのか、もしくはどのように対応しようとしているのかを調査した。

2 委員会活動状況

時期	活動	議題・テーマ
5 月		
R7. 5.23	委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■委員長の選任 ■副委員長の選任 ■副委員長の順位
R7. 5.25	管内調査	○けいはんなアバターチャレンジ (行催事等委員会調査)
6 月		
R7. 6. 3	管内調査	○京都府農林水産業人材確保・育成ネットワーク キックオフイベント (行催事等委員会調査)
R7. 6. 9	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■出席要求理事者 ■確認事項 ■本日の委員会運営
R7. 6. 9	委員会 (初回)	<ul style="list-style-type: none"> ■出席要求理事者 ■確認事項 ■所管部局の事務事業概要等 ■今後の委員会運営
R7. 6.13	管内調査	○けいはんな万博2025 Well-Being Festival (行催事等委員会調査)
R7. 6.20	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■定例会中の委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営
R7. 6.24	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (6定1日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項の聴取 (商工労働観光部) <ul style="list-style-type: none"> ・「第二次府民躍動 雇用応援★夢プラン (仮称)」の策定について ・包括外部監査結果に基づく措置状況について (商工労働観光部・農林水産部) ・京都府国土強靱化地域計画の改定(中間案)について (農林水産部) ・京都府豊かな森を育てる府民税について ・試験研究で開発された主な成果について ・包括外部監査結果に基づく措置状況について ■審査依頼議案(質疑終結まで)
R7. 6.25	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (6定2日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■審査依頼議案(適否確認) ■所管事項の質問 ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営

7 月		
R7. 7. 25	管内調査	○けいはんな万博2025 スタートアップフェス (行催事等委員会調査)
R7. 7. 28 ～ R7. 7. 30	管外調査	<p>■所管事項の調査</p> <p>○福島県ハイテクプラザ ・福島県製造業デジタル化推進プロジェクトについて ・施設視察</p> <p>○アグリカレッジ福島(福島県農業総合センター農業短期大学校) ・農業人材育成の取組について ・施設視察</p> <p>○青森県議会 ・「つくる、育てる、稼げる」あおもりの漁業創出事業について</p> <p>○日本サーモンファーム株式会社〔於：荒馬の里 活性化センター〕 ・サーモン海面養殖業の取組について ・現地視察(今別中間養殖場、今別・三厩海面養殖場)</p> <p>○弘前市役所〔於：公益社団法人弘前観光コンベンション協会〕 ・「ひろさきガイド学校」の地域観光ガイドの育成及び観光施策について ・現地視察(弘前市立観光館)</p>
8 月		
R7. 8. 2	管内調査	○鴨川納涼2025 開会式 (行催事等委員会調査)
R7. 8. 19	正副委員長会	■本日の委員会運営
R7. 8. 19	委員会 (閉会中)	<p>■所管事項の調査</p> <p>・「中小企業における人材確保の取組について」 参考人：株式会社アグティ 代表取締役 齊藤 徹 氏</p>
9 月		
R7. 9. 2	管内調査	○令和7年度「京都障害者ワークフェア」 (行催事等委員会調査)
R7. 9. 6 ～ R7. 9. 7	管内調査	○学びEXP02025 in KYOTO (行催事等委員会調査)
R7. 9. 8	管内調査	○KYOTO Next Award 2025 表彰式・交流会 (行催事等委員会調査)

R7. 9.19	管内調査	○KYOTO CMEX 2025 レセプション (行催事等委員会調査)
R7. 9.21	管内調査	○けいはんな万博2025 シンポジウム 不確実性ととも に生きる—未来への鍵 (行催事等委員会調査)
R7. 9.22	正副委員長会	■定例会中の委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営
R7. 9.25	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (9定1日目)	■報告事項の聴取 (商工労働観光部) ・「第二次府民躍動 雇用応援★夢プラン (仮称)」の策 定について ・けいはんな学研都市 南田辺西地区の開発着手につ いて (商工労働観光部・農林水産部) ・京都府国土強靱化地域計画の改定 (最終案) につ いて ・「関西広域連合 第6期広域計画 (中間案)」につ いて (農林水産部) ・第5次京都府食育推進計画の策定について ・京都府防災重点農業用ため池に係る防災工事等推 進計画の改定について ・1級河川防賀川及び田辺排水機場改修工事委託契 約変更について ・京都府過疎地域持続的発展方針及び過疎地域持 続的発展計画の改定について (中間案) ・持続可能な京都の漁業に関するプラン (仮称) の 策定について ・丹後沿岸海岸保全基本計画の変更について ・京都府内水面漁業振興計画の改定について ■審査依頼議案 (質疑終結まで)
R7. 9.26	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (9定2日目)	■審査依頼議案 (適否確認) ■所管事項の質問 ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
10 月		
R7.10. 2	管内調査	○京都スマートシティエキスポ2025 オープニングセ レモニー (行催事等委員会調査)
R7.10. 2	管内調査	○京都府織物・機械金属振興センター創立120周年 記念式典及び記念シンポジウム (行催事等委員会調査)

R7.10.11	管内調査	○けいはんな万博2025 閉会セレモニー (行催事等委員会調査)
11 月		
R7.11.8	管内調査	○職業能力開発促進大会 (行催事等委員会調査)
R7.11.15	管内調査	○第77回関西茶業振興大会京都府大会式典 (行催事等委員会調査)
R7.11.25	管内調査	<p>■所管事項の調査</p> <p>○京都府立農業大学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府立農業大学校における農業人材育成の取組について ・施設視察 <p>○京都信用保証協会中丹支所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地域における中小企業支援の取組及び府内産木材を活用した建築について ・施設視察
R7.11.29	管内調査	○京都府農林水産フェスティバル表彰式典 (行催事等委員会調査)
12 月		
R7.12.10	正副委員長会	<p>■定例会中の委員会及び分科会運営</p> <p>■今後の委員会運営</p>
R7.12.11	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (12定1日目)	<p>■報告事項の聴取</p> <p>(商工労働観光部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第二次府民躍動 雇用応援★夢プラン(仮称)」の策定について ・京都府の公設試の在り方検討委員会における提言について <p>(農林水産部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5次京都府食育推進計画の策定について(中間案) ・京都府防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画の改定について(中間案) ・京都府過疎地域持続的発展方針及び過疎地域持続的発展計画の改定について(最終案) ・持続可能な京都の海の活用に関するプラン(仮称)の策定について(中間案) ・京都府内水面漁業振興計画の改定について(中間案) <p>■審査依頼議案(質疑終結まで)</p>

R7.12.12	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (12定2日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■審査依頼議案（適否確認） ■所管事項の質問 ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
1 月		
R8. 1.16	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■本日の委員会運営
R8. 1.16	委員会 (閉会中)	<ul style="list-style-type: none"> ■所管事項の調査 ・「ツキノワグマによる被害や出没状況とその対策等について」 参考人：株式会社野生動物保護管理事務所 関西支社 支社長 中川 恒祐 氏
R8. 1.19	管内調査	○令和7年度「未来につなぐ京の木府民会議」全体会 (行催事等委員会調査)
R8. 1.31	管内調査	○第23回アビリンピック京都大会(京都府障害者技能競技大会)開会式 (行催事等委員会調査)
2 月		
R8. 2. 2	管内調査	○ZET-summit2026 オープニング (行催事等委員会調査)
R8. 2. 2	管内調査	○ZET-summit2026 交流会 (行催事等委員会調査)
R8. 2.18	管内調査	○「京都ビジネス交流フェア2026ー「京都発・グローバルニッチ戦略展」オープニングセレモニー」 (行催事等委員会調査)
R8. 2.21	管内調査	○アンドロイドお披露目 記念シンポジウム (行催事等委員会調査)
3 月		
R8. 3. 3	正副委員長会	<ul style="list-style-type: none"> ■定例会中の委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営
R8. 3. 6	委員会及び 予算特別委員会 分科会 (2定1日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■報告事項の聴取 (農林水産部) ・第5次京都府食育推進計画の策定について（最終案） ・京都府防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画の改定について（最終案） ・持続可能な京都の海の活用に関するプランの策定について（最終案） ・京都府内水面漁業振興計画の改定について（最終案） ・丹後沿岸海岸保全基本計画の変更について（中間案） ■審査依頼議案（質疑終結まで）

R8. 3. 9	委員会 予算特別委員会 分科会 (2定2日目)	<ul style="list-style-type: none"> ■審査依頼議案(適否確認) ■所管事項の質問 ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
R8. 3. 13	管内調査	○令和7年度京都府立福知山高等技術専門校修了式 (行催事等委員会調査)
R8. 3. 13	管内調査	○海の民学舎第10期生修了式 (行催事等委員会調査)
R8. 3. 17	管内調査	○令和7年度京都府立陶工高等技術専門校修了式 (行催事等委員会調査)
R8. 3. 19	管内調査	○令和7年度京都府立京都高等技術専門校修了式 (行催事等委員会調査)
4 月		
R8. 4. 7	管内調査	○令和8年度京都府立福知山高等技術専門校入校式 (行催事等委員会調査)
R8. 4. 8	管内調査	○令和8年度京都府立陶工高等技術専門校入校式 (行催事等委員会調査)
R8. 4. 9	管内調査	○令和8年度京都府立京都障害者高等技術専門校入校式 (行催事等委員会調査)
R8. 4. 10	管内調査	○令和8年度京都府立林業大学校入校式 (行催事等委員会調査)
R8. 4. 10	管内調査	○令和8年度京都府立農業大学校入校式 (行催事等委員会調査)
R8. 4. 10	管内調査	○海の民学舎第12期生入舎式 (行催事等委員会調査)
R8. 4. 14	管内調査	○令和8年度京都府立京都高等技術専門校入校式 (行催事等委員会調査)
R8. 4. 15	正副委員長会	■本日の委員会運営
R8. 4. 15	委員会 (閉会中)	<ul style="list-style-type: none"> ■所管事項の調査 ・「中小企業の事業継続・事業承継の支援について」 参考人：神戸国際大学経済学部 教授 中村 智彦 氏

5 月

R8. 5.13	正副委員長会	■臨時会中の委員会運営
R8. 5.14	委員会 (5 臨)	■委員会活動のまとめ

3 重要課題調査のための委員会

(1) 中小企業における人材確保の取組について

(令和7年8月19日(火)開催)

■開催概要

人材不足が深刻化する中、中小企業が事業継続やビジョンに沿った成長を遂げるため、人材確保・定着は大変重要な課題である。

京都府では、令和6年5月に「京都企業人材確保センター」を立ち上げ、府内企業の人材確保支援や、働きやすい就業環境の改善による多様な働き方の推進に取り組んでいる。

今回の委員会では、中小企業における人材確保の取組について、参考人及び理事者から説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

株式会社アグティ 代表取締役 齊藤 徹 氏

■出席理事者

【商工労働観光部】

商工労働観光部企画調整理事兼副部長（労働担当）、労働政策室長、産業労働総務課長、雇用推進課長、人材育成課長、労働政策室両企画参事

■主な質問事項

- ・組織改革に至った経緯や改革後の変化について
- ・福利厚生充実が社員の採用に与える影響について
- ・福利厚生事業参加者の反応について
- ・給与や昇進について
- ・他社との交流や越境活動のきっかけや方法について など

(2) ツキノワグマによる被害や出没状況とその対策等について

(令和8年1月16日(金)開催)

■開催概要

近年、集落や観光地等でツキノワグマが出没する事案が全国的に増え、京都府内でも目撃情報が相次ぎ、人的被害も発生する事態となっている。

京都府においては、関係部局で構成する「京都府ツキノワグマ対策連絡会議」を開催し、市町村や警察、猟友会と連携して出没抑制対策や緊急銃猟の体制整備を進めるとともに、府民にも注意喚起を行うことで、ツキノワグマ被害の抑制に努めている。

今回の委員会では、ツキノワグマによる被害や出没状況とその対策等について、参考人及び理事者から説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

株式会社野生動物保護管理事務所 関西支社 支社長 中川 恒祐 氏

■出席理事者

【農林水産部】

農林水産部技監、農政課長、農村振興課長、藤井農村振興課参事

■主な質問事項

- ・京都府における電気柵設置の補助について
 - ・ツキノワグマの捕殺基準及びゾーニング管理について
 - ・緊急銃猟に係る安全確保について
 - ・ドングリの豊凶や森林管理がツキノワグマの出没に与える影響について
 - ・市町村支援について
 - ・他部局を含めた全庁的な情報共有について
- など

(3) 中小企業の事業継続・事業承継の支援について

(令和8年4月15日(水)開催)

■開催概要

近年、物価高等の影響を受け、業界・サプライチェーンを支える企業の休廃業や業績悪化企業の増加が相次いでいるほか、後継者不在による廃業が課題となっている。

京都府では事業継続・事業承継に対する意識醸成から業界団体等のネットワークを活かした事業承継に関する掘り起こし機能の強化、関係機関によるマッチングまで、全段階での伴走支援を実施している。

今回の委員会では、中小企業の事業継続・事業承継の支援について、参考人及び理事者から説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

神戸国際大学経済学部 教授 中村 智彦 氏

■出席理事者

【商工労働観光部】

商工労働観光部副部長（総括担当）、観光室長、産業労働総務課長、
中小企業総合支援課長、経済交流課長、労働政策室企画参事

■主な質問事項

- ・高齢化による廃業を防ぐための早期からの事業承継の働きかけについて
- ・事業承継支援制度の認知強化に向けた広報について
- ・後継者育成に係る支援について
- ・事業承継における企業が抱える課題について
- ・金融機関などと連携した支援について
- ・地域企業への事業継続に係る支援について

など

4 審査依頼議案審査結果

「◎」は全会一致、「○」は賛成多数、「×」は否決、「会派名＝少」は少数意見留保、「＊」は修正案提出

(分科会)

	議案番号	件名	詳細審査結果
6月定例会	1	令和7年度京都府一般会計補正予算(第1号)中、所管事項	適当
	14	令和7年度京都府一般会計補正予算(第3号)中、所管事項	適当
9月定例会	1	令和7年度京都府一般会計補正予算(第4号)中、所管事項	適当
	7	京都府豊かな森を育てる府民税条例及び京都府豊かな森を育てる基金条例一部改正の件	適当
12月定例会	30	令和7年度京都府一般会計補正予算(第7号)中、所管事項	適当
2月定例会	42	令和7年度京都府一般会計補正予算の専決処分について承認を求める件(令和7年12月24日付け)中、所管事項	適当
	44	令和7年度京都府一般会計補正予算(第12号)中、所管事項	適当
	45	令和7年度京都府営林事業特別会計補正予算(第1号)	適当
	47	令和7年度京都府農業改良資金助成事業等特別会計補正予算(第1号)	適当
	48	令和7年度京都府中小企業経営基盤強化資金助成事業特別会計補正予算(第1号)	適当
	50	令和7年度京都府地域開発事業特別会計補正予算(第2号)	適当
	61	府営農業競争力強化農地整備事業等に関する市町村負担金を定める件	適当
	62	府営土地改良事業に関する市町村負担金を定める件	適当
	63	水産物供給基盤機能保全事業に関する市町村負担金を定める件	適当

5 管内外調査

① 管外調査

(令和7年7月28日(月)～30日(水))

1 福島県ハイテクプラザ(福島県郡山市)

【調査事項】

福島県製造業デジタル化推進プロジェクトについて

【調査目的】

京都府における企業のデジタル化推進支援の参考とするため、福島県ハイテクプラザにおける福島県製造業デジタル化推進プロジェクトについて調査する。

【説明】

福島県ハイテクプラザ

【調査内容】

福島県ハイテクプラザは、工業振興のために企業に対して技術的支援を行う県立の試験研究機関。令和4年には、福島市といわき市の技術支援センターを廃止、郡山市の本部に機能を集約し、現在、郡山本部、会津若松及び南相馬技術支援センターの3拠点体制となっている。

同所は、技術者の高齢化や人材不足といった企業課題に対応するため、県内製造業の働き方改革と生産性向上を支援する「福島県製造業デジタル化推進プロジェクト(FMDX)」を、内閣府の「デジタル田園都市国家構想交付金」の採択を受けて、令和6年度から開始した。

セミナーの開催などによりデジタル技術に関する普及啓発を行うとともに、コーディネーターが企業を訪問し相談対応する等、デジタル技術の導入支援に取り組んでいる。また、日本酒や伝統工芸品など、地域に根づいたものづくり産業の技術をデジタル技術によって見える化し、省力化や品質・魅力向上につなげる取組を行っている。

施設内にはロボットの導入効果を検証できるロボット・テストベッドやAI・IoTトレーニング設備を整備しており、実習形式での技術トレーニングなどを実施している。また、AIやIoTを活用した試作キットも開発し、工場等の現場に試験導入を行っている。

今後も、地域のものづくり産業が抱える課題を解決するため、地域企業のデジタル化推進や技術支援に継続的に取り組んでいきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・技術職員の人材確保・育成について
- ・機器整備・導入について
- ・プロジェクト化に至った経緯について
- ・プロジェクト終了後の計画について など



調査事項を聴取



施設視察

2 アグリカレッジ福島（福島県農業総合センター農業短期大学校） （福島県西白河郡矢吹町）

【調査事項】

農業人材育成の取組について

【調査目的】

京都府の農業分野における人材育成の参考とするため、アグリカレッジ福島の取組について調査する。

【説明】

福島県農業総合センター農業短期大学校
福島県農業担い手課

【調査内容】

昭和 63 年 4 月に開校したアグリカレッジ福島は、福島県唯一の農業実践の高等教育機関として農業人材の育成を行っている。

実践的な農業の技術力と優れた経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成することを目標に、教育課程は「農業経営部」と「研修部」の 2 つの部で構成されている。

農業経営部では、水田経営学科、野菜経営学科、果樹経営学科、花き経営学科、畜産経営学科の 5 学科を設置し、2 年間の修業期間の中で、農業経営に必要な実践技術を習得できるよう、実習授業を主としたカリキュラムを展開している。

研修部では、一般農業者や新規就農希望者を対象に、就農や農産加工、農業機械操作等多様な研修を実施している。基礎・専門知識習得のための短期研修のほか、長期就農コースでは 1 年間研修を行い、一人一農場・区画を割り当て、自身で栽培作物や方法を考え実証できるプログラムを設けている。また、卒業生が就農サポート支援員として、農業法人の仲介や学生の相談に応じることにより、学生の就農意欲を高める取組を行っている。

また、令和 3 年度から教育や研修機能の強化を図るための施設整備等を進め、スマー

ト農業等の学習に活用できる研修施設と、学生が利用する宿泊施設の供用を令和7年度から開始した。新施設には、ふくしま県産材利用推進方針に基づき、県産材が使用されている。今年度には、ドローンの操作研修等ができるよう、スマート農業トレーニングフィールドの整備も行う予定とのことであった。

【主な質問事項】

- ・ 就農希望者を増やすための取組について
- ・ 寮及び通学制ならではのメリットについて
- ・ 新規就農者の増加の要因について
- ・ 卒業後の進路や卒業者への支援について など



調査事項を聴取



施設視察

3 青森県議会（青森県青森市）

【調査事項】

「つくる、育てる、稼げる」あおもりの漁業創出事業について

【調査目的】

京都府における持続可能な漁業の推進の参考とするため、青森県の「つくる、育てる、稼げる」あおもりの漁業創出事業について調査する。

【説明】

青森県農林水産局

【調査内容】

青森県では、漁業関係者の意識醸成を進めながら、魚類や海藻類の増養殖など「つくり育てる漁業」を推進し、「稼げる漁業」へと発展させるなど、「あおもりの漁業」の活性化・持続的な発展を図るため、令和6年度から10年度の5か年計画で「つくる、育てる、稼げる」あおもりの漁業創出事業に取り組んでいる。

漁業関係者の意識醸成を目指し、地域座談会やシンポジウムを開催するとともに、座

談会などから出た意見を具体化するため、コンサルティング業者に委託してワークショップや先進事業の視察を行っている。実際に意見として挙げた消費拡大イベントの開催については、漁業関係者を実施主体として県が支援する方法で実現し、昨年度に続き、令和7年度も開催される予定である。また、漁港や藻場を活用した漁業体験や普及を通じて、「海業」として漁村の活性化を推進している。

「海面養殖サーモン一大産地化プロジェクト事業」では、青森県産のサーモン養殖技術支援など、各地域に適応した増養殖技術の確立や藻場礁の開発を行い、「つくり育てる漁業」の拡大に向けた基盤づくりを推進している。

今後も、本事業を漁業関係者や地元住民と連携して続けていくことで、漁村のにぎわいや「あおもりの漁業」の活性化・持続的な発展を進めたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ 養殖場所の確保について
 - ・ 淡水養殖及び海水養殖の生産性について
 - ・ 漁業関係者の事業参加について
- など



調査事項を聴取

4 日本サーモンファーム株式会社〔於：荒馬の里 活性化センター〕 〔現地視察：今別中間養殖場〕（青森県東津軽郡今別町）

【調査事項】

サーモン海面養殖業の取組について

【調査目的】

京都府における府内産水産物の生産拡大や持続可能な漁業の推進の参考とするため、日本サーモンファーム株式会社のサーモン海面養殖に係る取組について調査する。

【説明】

日本サーモンファーム株式会社

【調査内容】

日本サーモンファーム株式会社は、青森県を拠点にサーモンの海面養殖を行う企業であり、平成 29 年に青森県深浦町及び弘前大学食料科学研究所との産学官連携により、サーモン養殖の実証実験を行ったことをきっかけに設立された。

親会社の株式会社オカムラ食品工業は、世界的に需要のあるサーモンを中心に養殖・加工・販売の垂直統合型ビジネスで世界 8 か国に拠点・グループ会社を展開している。同社では、青森県内で養殖したサーモンを「青森サーモン」としてブランド化し、国内外で流通を行っている。

デンマークでの養殖経験を生かして、海外から輸入した大規模設備を用い、かつ孵化から成魚まで一貫した生産体制を構築したほか、日本初のバージ船を導入することにより、天候に左右されず遠隔で効率的に自動給餌することができ、安定生産を実現している。

また、自然環境の負荷が少ない養殖にも取り組んでおり、環境屋外型循環養殖場を今別町に整備している。令和元年 12 月には、環境や地域に配慮し操業している養殖業者に対する国際認証制度 ASC サケ基準の認証を国内で初めて取得した。

今後は、県外で行っているサーモンの加工や販売事業を青森県内で一貫して行うことで、地域経済や雇用を生み出し、サーモン養殖事業を通して持続可能な社会づくりを目指していきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ 養殖における設備投資について
 - ・ 高水温化や気候変動による影響及び対策について
 - ・ 他の漁業関係者との連携について
 - ・ 国・自治体の支援について
- など



調査事項を聴取



今別中間養殖場を視察

5 弘前市役所〔於：公益社団法人弘前観光コンベンション協会〕

〔現地視察：弘前市立観光館〕（青森県弘前市）

【調査事項】

「ひろさきガイド学校」の地域観光ガイドの育成及び観光施策について

【調査目的】

京都府における観光人材育成等観光施策の取組の参考とするため、ひろさきガイド学校における地域観光ガイドの育成及び観光施策について調査する。

【説明】

弘前市観光部

公益社団法人弘前コンベンション協会観光振興課

【調査内容】

弘前市では、観光ガイドの新たな担い手の減少や既存ガイドの高齢化、新型コロナウイルスの影響による活動停滞を受け、行政・観光事業者・ガイド団体による意見交換会を開催し、観光ガイドの持続的な育成・活動支援を目的とした「ひろさきガイド学校」を令和5年に開校。弘前市が主催し、公益社団法人弘前観光コンベンション協会が事務局業務を担っている。

ガイド講座は、ガイド人材育成に取り組むインバウンドガイド協会から派遣された講師が、ガイド実務に必要なスキルの習得に重点を置いた内容で実施している。また、ガイドの質を担保するため、令和6年度より独自のガイド認定制度を導入。令和7年度は一般クラス、インバウンドクラス、修了生が対象のフォローアップクラスの3コースの講座を設け、将来的に社会全体で自走化できるよう試験的に受講料の有料化を行った。

ガイドの活動支援として、受講生募集時及びガイド講座終了時期に希望進路を聞き取り、その進路に応じてガイド活動の機会を橋渡ししている。また、修了生が行うプライベートガイドツアーの開発・販売にも携わり、地域ならではのツアーを提供している。

将来的には、有償ガイドを行う人を増やし、ガイド事業が稼げる産業として発展できるようにしていきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ひろさきガイド学校の主な受講者について
- ・観光ガイドの稼働率について
- ・プライベートガイドツアーの内容作成について
- ・ガイドのスキル定着について

など



調査事項を聴取



ひろさきガイド学校修了生
による弘前市立観光館内の案内

農商工労働常任委員会 管外調査日程

令和7年

月日	発着地	発時刻	着時刻	摘要
7月28日(月)	京都駅2階新幹線中央口 9:00 集合、9:13 出発			
	京都駅	9:13		【のぞみ82号】
	東京駅	11:36	11:24	【やまびこ59号】 (車内昼食)
	郡山駅	13:10	12:57	【借上バス】
	福島県ハイテクプラザ (福島県郡山市)	14:50	13:40	●福島県製造業デジタル化推進プロジェクトについて ①概要説明 ②施設視察
7月29日(火)	アグリカレッジ福島 (福島県農業総合センター農業短期大学校) (福島県西白河郡矢吹町)	17:00	15:30	●農業人材育成の取組について ①概要説明 ②施設視察
	宿舎		17:45	(福島県郡山市内)
	宿舎	9:10		【タクシー】
	郡山駅	9:33	9:20	【やまびこ127号】
	仙台駅	10:17	10:11	【はやぶさ7号】
新青森駅	12:00	11:51	【借上バス】	
(昼食)	(12:15~13:00)		(青森県青森市内)	
7月30日(水)	青森県議会 (青森県青森市)	14:10	13:10	●「つくる、育てる、稼げる」あおもりの漁業創出事業について
	日本サーモンファーム株式会社 〔於：荒馬の里 活性化センター〕 (青森県東津軽郡今別町)	17:00	15:20	●サーモン海面養殖業の取組について ①概要説明 ②バス移動(10分) ③現地視察(今別中間養殖場、今別・三厩海面養殖場)
	宿舎		18:00	(青森県青森市内)
	宿舎	8:30		【借上バス】
7月30日(水)	弘前市役所 〔於：公益社団法人弘前観光コンベンション協会〕 (青森県弘前市)	11:15	9:30	●「ひろさきガイド学校」の地域観光ガイドの育成及び観光施策について ①概要説明 ②現地視察(弘前公園 弘前市立観光館)
	青森空港 (昼食)	(12:10~13:00)	12:00	(青森空港内 自由昼食)
	大阪国際(伊丹)空港	15:40	15:15	【JAL2154便】 【ジャンボタクシー】
議会棟		17:00	【解散】	

② 管内調査

(令和7年11月25日 (火))

1 京都府立農業大学校（綾部市）

【調査事項】

京都府立農業大学校における農業人材育成の取組について

【調査目的】

農業に関する技術や知識を習得するための教育・研修を行うことにより、農業の担い手となる人材を養成する京都府立農業大学校の取組について調査する。

【説明】

京都府立農業大学校
農林水産部経営支援・担い手育成課

【調査内容】

京都府立農業大学校は、京都府が設置する農業者研修教育施設であり、府内での農業の担い手を養成する2年制の「農学科」と、就農を検討する社会人や既就農者向けの短期講座を行う「研修科」を設けている。

農学科では、野菜経営コースと茶業経営コースの2コースに分かれている。同科は、教育時間のうち約6割を実習に充て、実践的な技術研修や段階的な経営研修を行っており、実践力と経営力を兼ね備えた人材育成に取り組んでいる。

野菜経営コースでは、1年次に作物栽培の基礎を学んだ後、4つの専攻グループに分かれ、2年次にはビニールハウスや露地圃場の一定面積を個別に管理し栽培するなど、専門技術や経営感覚を養う実践型カリキュラムが組まれている。茶と野菜の複合経営を学べる茶業経営コースについては、抹茶ブームを背景に茶業の担い手不足や多様化・高度化する新たな課題に対応するため、現在、茶業研究所と一貫体系とする教育内容を検討中である。

過去5年間の卒業生の進路は、自営就農が約1割、農業法人等への就業が6割であり、全国平均の5割を上回る高い就農率を誇っている。

同校は全寮制であるが、施設の老朽化や学生数の減少が課題になっていることから、今後は様々な意見を聞きながら、現在のライフスタイルを踏まえて検討していきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ 修学資金制度について
- ・ 茶業経営コースの今後の教育体制について
- ・ 近年の入学状況について

- ・ 受験年齢制限について
- ・ 狩猟免許の取得について
- ・ 寮の老朽化と全寮制について など



調査事項を聴取



研修圃場を視察

2 京都信用保証協会中丹支所（福知山市）

【調査事項】

北部地域における中小企業支援の取組及び府内産木材を活用した建築について

【調査目的】

京都信用保証協会中丹支所における、北部地域の中小企業に対する経営支援の取組について調査を行う。また、府内産木材の活用事例として、令和6年に整備された新事務所の建築について調査する。

【説明】

京都信用保証協会

【調査内容】

京都信用保証協会は、京都府内の中小企業に対し、金融機関からの借入れに対する信用保証を提供する公的機関である。同協会は本所に加え、京都府内に4つの支所を設置し、地域に根ざした支援体制を強化している。

近年、原材料価格の高騰や人手不足の問題に直面する企業が増加する中、同協会は行政や金融機関、商工会議所・商工会などの経営支援団体と連携し、それぞれの強みを生かした「金融・経営一体型支援ネットワーク」を府内地域ごとに構築し、各企業の状況に応じた個別支援にあたっている。

中丹支所では、令和6年に国の「CLT活用建築物等実証事業」と京都府の「ひろがる京の木整備事業」の補助金を活用し、府内産木材を活用したCLT工法により新事務所を整備した。環境面にも配慮し、高断熱化や高性能の省エネ・創エネ設備を導入するなど Nearly ZEB 性能を有している。この取組は環境配慮型建築のモデルケースとして

高く評価され、ウッドデザイン賞などを受賞。また、令和7年には丹後支所の新事務所を、地元企業に依頼の上、府内産木材を活用し建設した。今後、これらの支所をPR拠点として、府内産木材の利用拡大や地元企業の技術力向上につなげていきたいとのことであった。

【主な質問事項】

- ・ 地域事業者や関係機関との連携について
 - ・ 社会的意義のある企業への融資支援について
 - ・ 企業の賃上げ及び人材不足の現状や本協会における対応について
 - ・ 新事務所建設における地域事業者の関与について
 - ・ 既存棟の改修及び新築棟の整備内容について
- など



調査事項を聴取



施設視察

農商工労働常任委員会 管内調査日程

令和7年

月日	発着地	発時刻	着時刻	摘要
11 月 25 日 (火)	議会棟 8:40 集合、8:45 出発			
	議会棟	8:45		【借上バス】
	京都府立農業大学校 (綾部市)	12:00	10:30	●京都府立農業大学校における農業人材育成の取組について ①概要説明 ②施設視察
	(昼食)	(12:15~13:15)		(福知山市内)
	京都信用保証協会中丹支所 (福知山市)	14:50	13:20	●北部地域における中小企業支援の取組及び府内産木材を活用した建築について ①概要説明 ②施設視察
	議会棟		16:40	【解散】

テレビ取材

6 委員会活動のまとめ

5月臨時会の委員会（令和8年5月14日開催）において、各委員から、1年間の「委員会活動のまとめ」として、本委員会の所管事項に関する総括的な所感や、意見・要望等の発言があった。

以下、その内容を発言順に記載した。

行催事等に係る委員会調査の結果概要について

商工労働観光部

行催事等名	主催者名 (招待者名)	会 場 (市区町村名)	年 月 日
令和7年度 京都府立福知山高等技術専門校修了式	京都府	京都府立福知山高等技術専門校 (福知山市)	令和8年3月13日(金)
令和7年度 京都府立陶工高等技術専門校修了式	京都府	京都府立陶工高等技術専門校 (京都市東山区)	令和8年3月17日(火)
令和7年度 京都府立京都高等技術専門校修了式	京都府	京都府立京都高等技術専門校 (京都市伏見区)	令和8年3月19日(木)
令和8年度 京都府立福知山高等技術専門校入校式	京都府	京都府立福知山高等技術専門校 (福知山市)	令和8年4月7日(火)
令和8年度 京都府立陶工高等技術専門校入校式	京都府	京都府立陶工高等技術専門校 (京都市東山区)	令和8年4月8日(水)
令和8年度 京都府立京都障害者高等技術専門校入校式	京都府	京都府立京都障害者高等技術専門校 (京都市伏見区)	令和8年4月9日(木)
令和8年度 京都府立京都高等技術専門校入校式	京都府	京都府立京都高等技術専門校 (京都市伏見区)	令和8年4月14日(火)

農林水産部

行催事等名	主催者名 (招待者名)	会 場 (市区町村名)	年 月 日
海の民学舎第10期生修了式	海の民学舎運営協議会	京都府水産事務所 (宮津市)	令和8年3月13日(金)
令和8年度 京都府立林業大学校入学式	京都府	和知ふれあいセンター (船井郡京丹波町)	令和8年4月10日(金)
令和8年度 京都府立農業大学校入学式	京都府	京都府立農業大学校 (綾部市)	令和8年4月10日(金)
海の民学舎第12期生入舎式	海の民学舎運営協議会	京都府水産事務所 (宮津市)	令和8年4月10日(金)